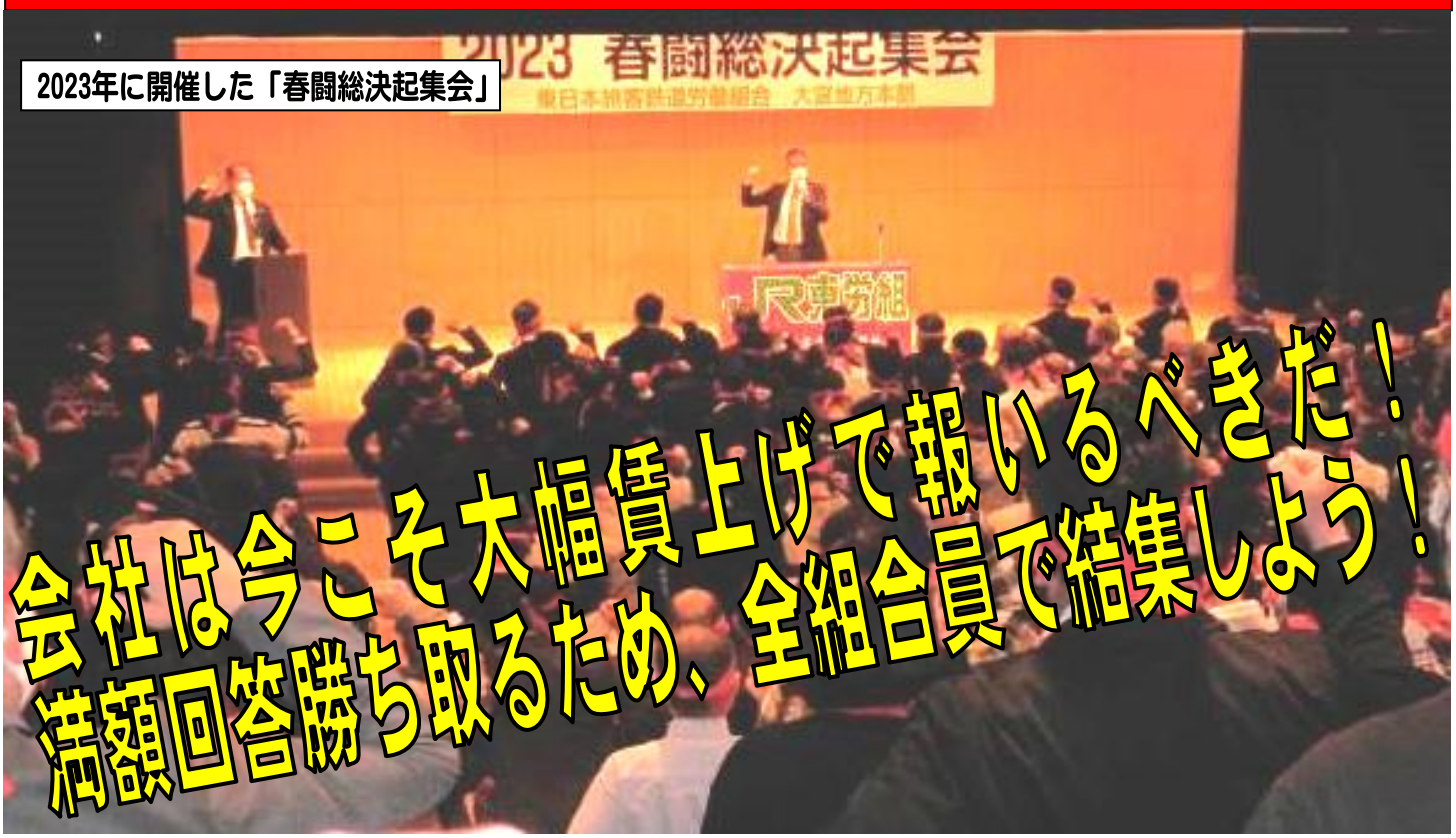
ŌMIYA NEWS
No.120　2024年2月2日　JR東労組大宮地本

2024大宮地本
春闘総決起集会（仮称）
に結集しよう！



2023年に開催した「春闘総決起集会」

日　時　2024年3月5日（火）18時30分開始

場　所　①さいたま市民会館おおみや（ReiBoC Hall）
小ホール【メイン会場】

②さいたま市民会館おおみや（ReiBoC Hall）
第1集会室【リモート会場】

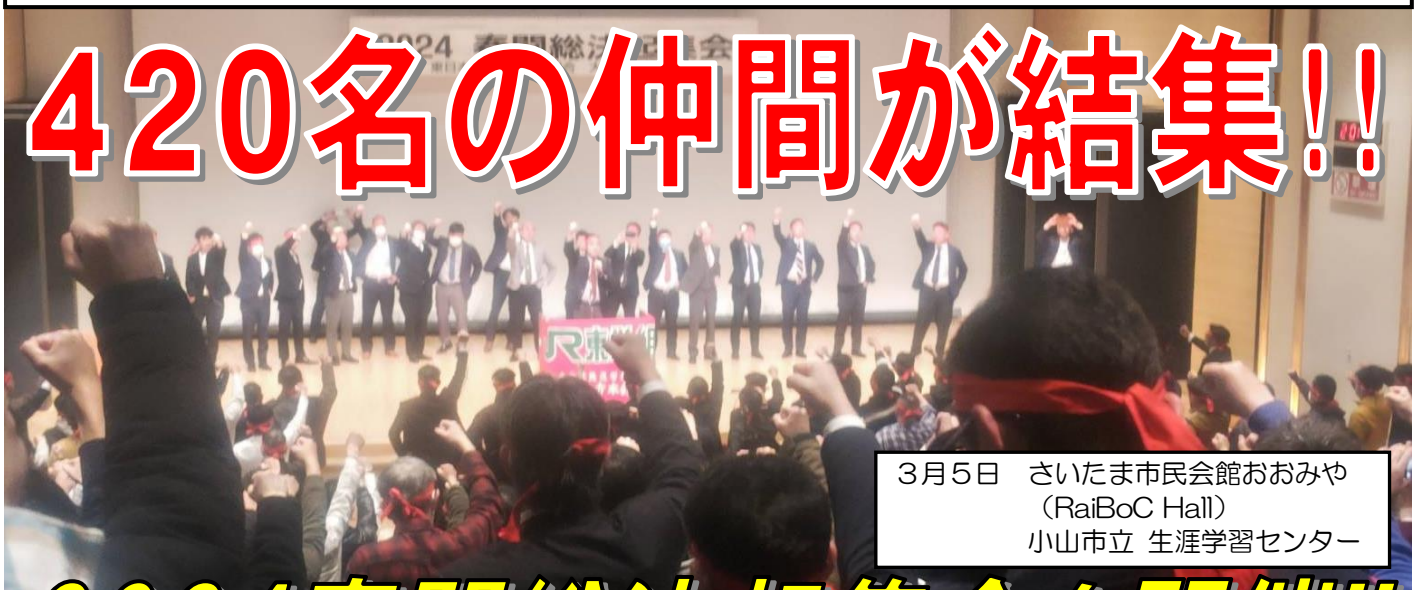
※小ホールが満員になった際に第1集会室がリモート会場

③小山市立生涯学習センターホール【リモート会場】

※勤務の都合等で本会場の開始時間に間に合わない方のみ限定

ŌMIYA NEWS

No.143　2024年3月6日　JR東労組大宮地本



３月５日　さいたま市民会館おおみや
（RaiBoC Hall）
小山市立 生涯学習センター

2024春闘総決起集会を開催!!

３月５日、さいたま市民会館おおみや・小山市立生涯学習センターにおいて、「２０２４春闘総決起集会」を総勢４２０名の仲間が参加し開催しました。

集会の中で来賓挨拶として４日・５日に行った申１５号と申１６号の第２回目交渉報告を受けました。また地本業務部より問題提起を行い、２４春闘を取り巻く情勢や労働組合の存在意義を明確にし、要求実現に向けたたかうことを一致してきました。決意表明では大宮運転区における不当処分・不当転勤に対するたたかいや、職場運動や関係強化を通じて組織拡大を実現した成果、会社施策に対する職場実態などが語られました。私たち一人ひとりが２４春闘満額回答を勝ち取るため職場からたたかいを推し進め、組織強化・拡大に繋げていきましょう。

懲戒権の濫用と事実を隠蔽し不当処分を正当化する会社姿勢は許さない！
安全で安心して働ける職場の実現と24春闘要求満額回答を勝ち取り、組織強化・拡大に繋げよう!

ŌMIYA NEWS

No.146　2024年3月8日　JR東労組大宮地本

24春闘情報パート⑫

申１５号
2024年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

ベア

所定昇給額と同一の額

怒

+4000円

組：ベアに格差がついている。一律12000円要求なのに、なぜこのような回答か？
会：組織再編等で、人材育成が重要。職責に重みがある。

職責によってベアに差があるのはおかしい！
物価上昇分にも追い付いてない！

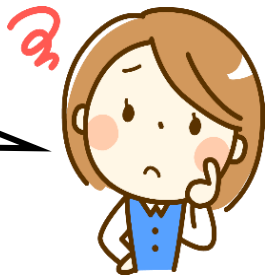
申１６号
2024年度夏季手当に関する申し入れ

基準内賃金の

2.7ヶ月分

組：2.7ヶ月の要求で要求に届いていない。
会：直近の業績動向を勘案した。

株主配当が上がっているのに、
私たちには還元しないの？
営業利益もコロナ前に近いのに。

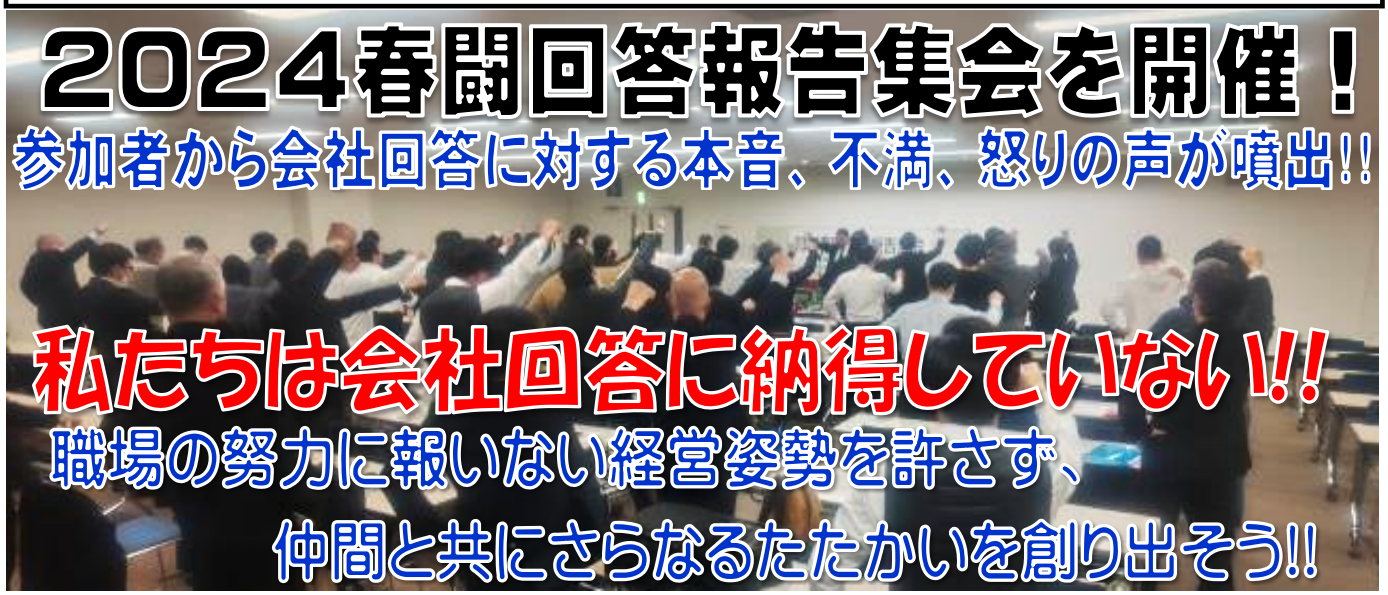


みなさん、この会社回答をどう思いますか??
会社回答に対する「怒り・不満・疑問」の声を集め、
満額回答を勝ち取るまで最後までたたかい抜こう!!

ŌMIYA NEWS
No.154　2024年3月15日　JR東労組大宮地本

2024春闘回答報告集会を開催！

参加者から会社回答に対する本音、不満、怒りの声が噴出!!



私たちは会社回答に納得していない!!

職場の努力に報いない経営姿勢を許さず、
仲間と共にさらなるたたかいを創り出そう!!

3月14日、24春闘・夏季手当の会社回答を受け、浦和コミュニティセンターにおいて「2024春闘回答報告集会」を開催しました。今集会には60名を超える仲間が結集し、会社回答・職場実態・経営姿勢に対する怒りが多く出されました。

≪参加者からの発言≫

- 多くの組合員が格差のついたベアに強い怒りを持っている！
- 職場でアンケートを取り組み未加入者も回答した。ベアへの格差や他企業より低い額に対し不満が出される。エルダーからは今の賃金ではモチベーションが上がらないとの声もある。
- 回答内容がわかりにくい。数字に騙されてはならない。「ベア平均 10,580 円」としているが、平均に届くのは一部管理者のみで、まやかしだ。格差も過去最大になり納得できない。
- 一部しか支給されない手当や、既に決定済みの処遇改善も含めて「賃上げ」として世間にアピールする会社姿勢とその質に対して怒りを感じる。
- 夏季手当 2.7 ヶ月は昨年比で0. 5ヶ月しか変わらない。物価上昇を考えると実質的にはほとんど増えていない。
- 歴史的物価高に対し生活向上分が必要。労働力を売る身として、ベア満額獲得は譲れない。
- カットされた定昇を戻さない会社の回答に納得できない。
- 数字は大きく見えるが、他企業は満額回答の一方で私たちは物価上昇にも届かない。
  休日出勤や多客対応で奮闘し、コロナ前の収入を達成した努力に報いていない。
  このままではモチベーションが低下し離職者が増えるばかりだ。
- 委員会や業務研究を頑張っても管理者の実績にされている。
  「職責を重視」と言うが、そんな管理者の方が高い賃上げなのは納得できない。

会社回答や経営姿勢への強い怒りや離職者増大への不安が噴出！
怒りを形にして、職場からさらなる組織強化・拡大を創り出す決意が語られる！

会社は職場の怒りの声を踏まえ回答を再考し、職場の努力に満額回答で報いるべきだ！

更なるたたかいを推し進め、組織強化・拡大を勝ち取ろう！

ŌMIYA NEWS

No.163　2024年3月22日　JR東労組大宮地本

申19号24春闘再申し入れ　会社回答が示される！

納得できない理由を最大限訴えるも、会社は「再考せず」！

本部は再申し入れ以降の7000件を超える声を突きつける！

①過去最高の働き度で過去最大の格差に反対！
②コロナ禍を乗り越えて奮闘したのに、
　更に馬車馬のように働けという事か！
③回答書、参考資料も人材確保へのアピール！
　対外的で世間体重視の姿勢に過ぎない！
④訴えた職場の声は現場第一の経営姿勢を
　求めているという事を受け止めるべきだ！

納得できない！
再考すべき！

しかし、会社の主張は

「本日の議論を踏まえ変えることはない」
「再考の余地はない。最終回答である！」
「職責は重要な要素という事から鑑みて

合理的な差である。格差ではない。」

「コロナ前9割まで営業収益は回復しているが、
利益ベースでは戻っていない」等と回答！ 要求実現ならず！

怒りや悔しさが噴出する一方、職場からたたかいを創り出してきた成果も確認！
今後も組織拡大を更に強化し職場の努力を顧みない経営姿勢に立ち向かう事を確認し、妥結を判断！

私たちの賃金は本当にこのままで良いのか!?

全組合員で本部声明の読み合わせを行い、たたかいの成果と課題を共有し、会社姿勢に立ち向かい、更なる組織強化・拡大のたたかいを創り出そう！